

宮城県・宮城県トラック協会・宅配大手三社による

全国初
「再配達ゼロの推進に関する協定締結式」を
開催します！

このたび、宮城県は（公社）宮城県トラック協会、佐川急便株式会社、日本郵便株式会社、ヤマト運輸株式会社と「『持続可能なトラック輸送及び再配達ゼロ』の推進に関する協定」を締結することとし、下記のとおり協定締結式を行いますのでお知らせいたします。

この協定は、県民の方に身近な宅配の再配達を切り口に、社会インフラである物流への関心と行動変容を呼び起こし、物流機能の維持につなげることを目的として締結するもので、宅配各社との連名による協定は全国初となります。

記

- 日時・場所 令和6年9月18日（水）午後3時5分～午後3時30分
宮城県行政庁舎4階 庁議室
- 出席者 公益社団法人宮城県トラック協会 庄子 清一 会長
佐川急便株式会社 鈴木 将義 南東北支店長
日本郵便株式会社 小野木 喜恵子 常務執行役員東北支社長
ヤマト運輸株式会社 山内 秀司 東北統括執行役員
宮城県 村井 嘉浩 知事
- 協定概要
 - ・トラック輸送の維持及び再配達の縮減に向けた普及啓発活動
 - ・業務改善事例の情報交換

荷主事業者・消費者にできることは？
荷主事業者ができること


荷物の積み下ろしや待機の時間は、1運行平均で約2時間
 ⇒ スムーズに積み下ろしできる環境の整備

私たちができること


再配達は毎月約30万個（宅配便の1割）
 ⇒ 日時指定や宅配ボックス、コンビニ受け取りなどの活用